

避難訓練・防災学校

令和7年10月7日（火）



9月11日（木）、地震を想定した避難訓練を行いました。放送指示を聞いて、頭を守りながら避難場所まで移動。消防署の方からは、「まじめに訓練に取り組み、落ち着いて行動ができている」と褒めていただきました。事前に「おはしも（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない）」について確認していました。校長の話は以下の通り。

「前回の避難訓練では、①落ち着いて話を聞くこと、②自分で何をするか考えて行動することを、「いざ」というときに大切にしてほしいと伝えていましたね。これは普段から鍛えて身につけてほしい力です。普段の授業で、学級で、意識して身に付くよう取り組んでください。」

その後、火災が起こった場合の訓練として、消火器を使う体験も行いました。6年生数名が代表して行いました。火との距離、消化のねらいどころなど学びました。



この日は、4年生は一日防災学校を行いました。この事業は、北海道シェイクアウト2025と連携し、地震想定避難訓練と合わせて行いました。岩内町危機管理課の方を講師に招き、災害発生時の避難の仕方や避難所のことについてお話しいただきました。

特に、避難所で使われている段ボールのベッドや、間仕切り（段ボールでできている）など実物に触れることで、お話しいただいたこととイメージがつながり、災害への備えの気持ちを強くもつことができました。

